平成二十八年六月九日（木曜日）　午後一時　開演　正午　開場

観世会荒磯能

於　東京都中野区東中野二ノ六ノ十四
梅若能楽学院会館
電話　〇三（三三六三）七七四八

能

菊慈童

シテ　寺井千景
ワキ　御厨誠吾
小鼓　大山容子　大倉慶乃助
笛　松田弘之　太鼓　林雄一郎

狂言

悪坊

山本則重　山本凜太郎　山本泰太郎

（休憩　十五分）

能

桜川

子方　馬野訓聡
シテ　坂井音晴
ワキ　舘田善博
小鼓　鳥山直也　大鼓　安福光雄
笛　槻宅聡
後見　角幸二郎　山階彌右衛門
地謡　井上裕之真　木月章行　新江和人　武田宗典　坂口貴信　清水義也　武田友志　坂井音雅
後見　上田公威　観世清和
地謡　関根祥丸　武田祥照　高梨万里　坂井音隆　岡庭祥大　下平克宏　武田志房　松木千俊

（休憩　十分）

能

鉄輪

シテ　武田文志
ワキ　野口能弘
小鼓　幸正昭　大鼓　柿原弘和
笛　藤田貴寛　太鼓　観世元伯
間　山本則秀
後見　寺井栄　津田和忠
地謡　木月宣行　佐川聡哉　金子勝貴　田口亮二　北浪藤波　野村昌司　貴裕重彦　重孝

附祝言

（終了予定　午後五時）

入場料（消費税込）
自由席　四、二〇〇円（前売　三、一五〇円）
学生席　一、五七〇円
（学生券の購入は30才未満の学生に限らせて頂きます。なお、放送大学及び各大学の通信講座受講生は、学生券の対象外とさせて頂きます。）

〔取扱先〕観世会事務所　〇三（五七七八）四三八〇
観世ネット　http://www.kanze.net
チケットぴあ　〇五七〇（〇二）九九九九　pia.jp/t

◎都合により、曲目・出演者に変更のある場合もございます。

次回予告

平成二十八年八月四日（木）午後一時始
梅若能楽学院会館

放下僧　ツレ　高梨万里　坂井音隆
胡蝶　新江和人

【あらすじ】

能・菊慈童（きくじどう）

魏の文帝は酈縣山より流れ出る不思議な水があると聞き、勅使（ワキ）を遣わします。

山に入った勅使は辺り一面に菊の花が咲き乱れる一軒の庵を見つけます。庵の中には、一人の慈童（シテ）がおり、自分はかつて周の帝に仕えた慈童だと名乗ります。勅使は、周の時代は数代も前の御代であると驚いて尋ねると、慈童は帝より二句の妙文が記された枕を賜り、その妙文を菊の葉に写すと滴る水が薬の水となり、その水を飲んで七百年もの齢を重ねていると答え、菊に戯れて舞い、帝の長寿を寿ぎ、山の中へと姿を消して行くのでした。

狂言・悪坊（あくぼう）

出かけた途中、酔った男に呼び止められ、無理矢理道連れにされた出家は、宿の亭主からその男が悪坊という乱暴者だと教えられます。出家は悪坊が寝ている間に、小袖や長刀を取り上げて逃げて行きます。そして目覚めた悪坊は…。

能・桜川（さくらがわ）

筑紫・日向国に住む幼子・桜子（子方）は自分の身を売り、人商人（ワキツレ）に手紙と身売りの代金を預け母親（前シテ）のもとに届けさせます。その手紙を読み、桜子が貧しさを悲しみ、自らの身を売ったことを知ると、母親は悲嘆にくれ、氏神の木華開耶姫に我が子の無事を祈りながら、行方を尋ねて東国へ向かいます。（中入）

常陸国・磯部寺の稚児となった桜子は、僧（ワキ）に連れられて桜川のほとりに花見に出かけます。そこに狂女（後シテ）が現れ、手にした網で桜川の水面に散る桜を掬い、僧に狂女となった事情を語り、我が子への思いを募らせます。話を聞いた僧は、狂女が桜子の母ではないかと気付き、親子は再会を果たし、連れ立って帰って行くのでした。

能・鉄輪（かなわ）

都に住む女（前シテ）は、自分を捨て後妻を迎えた夫を恨み、毎夜丑の刻、貴船の社に詣でます。社人（間狂言）はその女に「赤い衣を着、顔に丹を塗り、頭に鉄輪を戴いて火を灯し、怒る心を持てば鬼となり、願いが叶うであろう」という神託を告げます。女は人違いだと言いつつも、顔色が変わり、凄まじい形相となって帰って行きます。（中入）

一方、夫（ワキツレ）は、毎夜夢見が悪いので、陰陽師・安倍晴明（ワキ）のもとを訪ねると、女の恨みのため、今日にも命が危ういと言われ、祈祷をしてもらうことにします。そこに生きながら鬼となった女（後シテ）が現れ、恨みを述べて、後妻の命を奪い、夫を連れ去ろうとしますが、祭壇に祀られている守護神の威力によって力も弱まり、恨みを残しながら消えて行くのでした。

【荒磯能からのお知らせ】

◎当日の演目を中心とした能のお話、「あらいそ～能を楽しむために～」を坂口貴信が開場三十分後より致します。どうぞお気軽にお越し下さい。

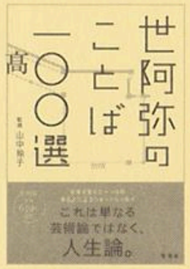
【お知らせ】

◎お客様用の駐車スペースはございません。
◎館内の空調は、お席によっては冷暖房の温度格差がございます。予め御留意頂きますようお願い申し上げます。
◎公演中の無断撮影・録音は、鑑賞の妨げになるばかりでなく、著作権等の法律に触れますので、固くお断り申し上げます。

能楽はユネスコ第一回世界無形遺産に登録されました。

世阿弥のことば一〇〇選

観世宗家はじめ、さまざまな分野で活躍する著名人が選んだ世阿弥のことば。執筆者それぞれの視点で世阿弥のことばと向き合ったショートエッセイ集



監修　山中玲子

四六版並製本　一六四頁
本体一、六〇〇円＋税
ISBN978-4-8279-0994-4

檜書店　☎03-3291-2488
http://www.hinoki-shoten.co.jp